P01	6月20日(金)14:00-15:00
痛みの評価・診断、基礎研究	ポスター会場1

カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カ		かハノ 五物!
		座長:合田 由紀子(市立札幌病院)
P01-1	緩和ケア科へ紹介された骨転移痛のある肺悪性腫瘍患者の疼痛緩和の検討 鈴木 晶子(独立行政法人 国立病院機構 函館病院 緩和ケア科)	258
P01-2	大腸癌の転移性肝腫瘍による肝不全は、がん緩和ケアにおける症状マネジ 佐野村 誠(北摂総合病院 緩和ケアチーム)	・ メントが良好である 258
P01-3	フェンタニル注によるタイトレーション後、12時間法を用いて経皮吸収 移行の検討・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	安部 睦美(松江市立病院 緩和ケア・ペインクリニック科)	236
P01-4	当院におけるがん性疼痛治療アセスメントテンプレートを用いたがん性疼 蔦 和子(独立行政法人 労働者健康福祉機構 香川労災病院)	痛緩和治療の現状について 258
P01-5	入院患者の疼痛スクリーニング、一般病院における除痛率調査の意義と方 笹良 剛史(友愛会南部病院 緩和ケアチーム)	法の検討259
P01-6	A病院における緩和医療の今後の課題〜医師と看護師が捉えるがん性疼痛森 美樹 (徳島県鳴門病院)	マネジメントの意識調査~ 259
PO2 痛みの	 評価・診断	6月20日(金)14:00-15:00 ポスター会場1
	座:	長:冨安 志郎(医療法人光仁会 西田病院)
P02-1	蠕動痛に着目した突出痛治療がオピオイド投与量と患者のQOL に及ぼす ~ チームで 蠕動痛を評価する意義~	
P02-2	疼痛アセスメントツール「痛み計」からタブレットPC版「ペインメモリ・ 平澤 宏卓(名古屋大学 大学院 医学系研究科 看護学専攻 博士課程前期課	
P02-3	Performance Statusと疼痛緩和の関係	260
P02-4	フェンタニルロ 腔粘膜吸収製剤fentanyl buccal tablet (FBT) の使りアセスメントが重要である 。 家田 秀明(名古屋掖済会病院 緩和医療科)	
P02-5	がん性疼痛の突出痛に対するフェンタニルクエン酸塩バッカル錠の使用経 渡部 秀樹(地方独立行政法人三重県立総合医療センター 外科)	験 260
P02-6	肝細胞癌の胸椎骨転移と脊椎椎間板炎の診断に苦慮した一例 田村 美宝(東京慈恵会医科大学 腫瘍血液内科)	260
P02-7	日中にのみレスキュードーズを頻回に使用する疼痛コントロールに難渋し 1 症例	
PO3 オピオ	· イド1	6月20日(金)14:00-15:00 ポスター会場1
	·	至長:佐藤 英俊(佐賀大学医学部附属病院)
P03-1	医療用麻薬の自己管理〜導入における問題点と対応策〜 乾 貴絵(兵庫医科大学病院 ペインクリニック部 緩和ケアチーム)	261
P03-2	安全かつ確実なオピオイドローテーションを可能にするアプリケーション	の開発 ······ 261

 医療用麻薬の自己管理~導入における問題点と対応策~ 2 乾 貴絵(兵庫医科大学病院 ペインクリニック部 緩和ケアチーム)	261
 安全かつ確実なオピオイドローテーションを可能にするアプリケーションの開発	261
 医療用麻薬の自己管理〜医療従事者を対象とした意識調査およびプロトコールの構築に向けて〜 2 阿久井 千亜紀(兵庫医科大学病院 薬剤部)	261

P03-4	東海大学医学部付属病院緩和ケアチームによるオピオイドローテーションの安全 長島 聖子(東海大学医学部付属病院 看護部)	全性と効果 262
P03-5	がん終末期におけるオピオイド持続皮下注症例の検討 野本 靖史(我孫子聖仁会病院 緩和ケア内科)	262
P03-6	がん疼痛に対する強オピオイド導入に影響する要因の分析	262
P03-7	レスキュードーズ患者自己管理における患者の評価と病棟看護師の意識調査 … 小野 裕子(市立函館病院)	262
P03-8	がん性疼痛を訴える患者でのオピオイド使用障害について 谷口 彩乃(京都府立医科大学 疼痛緩和医療学講座)	263
P03-9	当院緩和ケア病棟における大量オピオイド投与患者の考察	263
P04 オピオイ	' ド 2	6月20日(金)14:00-15:00 ポスター会場1
		座長:服部 政治(がん研有明病院)
P04-1	トラマドール塩酸塩カプセルの有用性と安全性についての検討中西 晶子(市立池田病院 薬剤部)	263
P04-2	メサドンを飲めなくなったらどうするか	263
P04-3	当院におけるトラマドール塩酸塩カプセルのがん疼痛に対する使用実態調査 … 角田 耕紀(松江市立病院 緩和ケア・ペインクリニック科)	264
P04-4	がん性疼痛マネジメントの世界の現状 〜 ESMO主導Global Opioid Policy Initiative (GOPI) surveyの報告〜 小池 和彦(医療法人 東札幌病院)	<i>-</i> 264
P04-5	がん疼痛に対する持続皮下注射に関わる看護師の実態調査 小林 正樹(東京都立多摩総合医療センター 緩和ケアチーム)	264
P04-6	高度な疼痛を有するがん患者に対するオピオイドの経静脈投与によるRapid ti 中島 信久(東北大学大学院 外科病態学講座 緩和医療学分野)	trationの実際 264
P04-7	当院緩和ケア病棟における高齢者のオピオイド使用状況〜年齢階層別比較による入山 哲次(NTT東日本関東病院 緩和ケア科)	3検討~ 265
P04-8	メサドンを開始導入された外来患者をサポートする	265
P04-9	当院におけるフェンタニルバッカル錠の使用経験 堀江 達夫 (大田市立病院 薬剤科)	265
P05 オピオィ	' ド3	6月20日(金)14:00-15:00 ポスター会場1
		座長:原 聡(原クリニック)
P05-1	オピオイド鎮痛薬による重篤な副作用発現に関連する要因の調査 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	265
P05-2	オピオイド初回投与時に嘔気・嘔吐を発症する患者の要因解析 一オピオイド開始時の制吐剤予防投与は不要か?一 神林 祐子(京都府立医科大学 附属病院 薬剤部)	266
P05-3	強オピオイド初回導入時におけるオキシコドン注射剤の有用性 槇原 洋子(大分大学医学部附属病院 緩和ケア支援チーム)	266
P05-4	我が国の医薬品副作用報告に基づくオピオイドの客観的副作用発現頻度解析 … 植沢 芳広 (明治薬科大学 臨床薬剤学教室)	266

P05-5	呼吸困難に対するモルヒネとオキシコドンの緩和効果の比較	266
P05-6	モルヒネ注射剤の高用量投与に関連した症状と併用薬剤についての検討 ············· 小坂 太祐(公立置賜総合病院 緩和ケアチーム)	267
P05-7	緩和ケアチーム非介入症例におけるオピオイドローテーションの現状 齋藤 雄紀(東海大学医学部 外科学系 乳腺・内分泌外科)	267
P05-8	当院におけるフェンタニルバッカル錠の使用状況 ······ 大坂 巌(静岡県立静岡がんセンター 緩和医療科)	267
P05-9	フェンタニルバッカル錠の食前予防的投与が有効であった1例 大坂 巌(静岡県立静岡がんセンター 緩和医療科)	267
P05-10	間質性肺炎に対するステロイドパルス療法後にオピオイド必要量が6分の1となっ 大腸癌仙骨転移の1例	
P06 オピオ・	イド4	6月20日(金)14:00-15:00 ポスター会場1
		座長:福田 陽子(東京衛生病院)
P06-1	フェンタニルロ腔粘膜吸収剤を用いたがん疼痛症例の経験 ······ 遠藤 光史(要町病院)	268
P06-2	急性腎後性腎不全に伴いオキシコドン過量を認めた 1 症例	268
P06-3	がん 疼痛緩和におけるメサドン塩酸塩の使用について 平林 克博(安曇野赤十字病院 薬剤部)	268
P06-4	消化管閉塞を併発したフェンタニル貼付剤使用患者のレスキュードーズに PCA機能付きディスポーザブル注入器を用いた 1 例 ······ 伴 佳子(防衛医科大学校 医学教育部 看護学科)	269
P06-5	メサドンでコントロール不良の疼痛に対し、持続くも膜下オピオイド鎮痛法にsw 良好な経過を辿った一例	
P06-6	さまざまな場面で合理的に使えるオキシコドン注射薬の多様な使用法森広 雅人 (長野県立須坂病院)	269
P06-7	進行期膵癌患者に対するオキシコドン注射液(オキファスト注 [®])の有用性の検討 西田 純幸(大阪大学大学院 医学系研究科 癌ワクチン療法学)	ł ······ 269
P06-8	難治性がん疼痛に対するメサペインの有効性と安全性	270
P06-9	入院患者に対して麻薬のレスキュー自己管理運用を行った3症例の検討 ············ 加藤 泰史(国立病院機構 福井病院 呼吸器外科)	270
PO6-10	メサドンの有効性を得た骨髄腫の一症例 水口 亜紀(札幌医科大学医学部麻酔科学講座)	270
P07 オピオ・	イド5	6月20日(金)14:00-15:00 ポスター会場1
	座長:原	京田 紳介(横浜市立大学附属病院)
P07-1	高用量フェンタニル貼付剤からオキシコドン持続静注へのオピオイドローテーショメキシレチン塩酸塩により疼痛緩和がはかれ歩行可能となった一症例 石渡 明子(北海道済生会小樽病院 看護部)	
P07-2	メサドンからフェンタニル貼付剤にオピオイドローテーションを行った1例 佐塚 祥一郎(東京歯科大学 市川総合病院 麻酔科)	271
P07-3	メサドンの導入が有効であった難治性下肢疼痛の仙骨悪性軟骨肉腫の1症例 高瀬 直人(兵庫県立がんセンター 腫瘍内科)	271

P07-4	直腸がんの仙骨部局所再発症例に対するメサドンの使用経験	271
P07-5	メサドンの使用経験	271
P07-6	前立腺癌、骨転移によるがん性疼痛に対して、レスキュー投与としてオキシコドン製剤、 フェンタニル製剤を併用した一例	272
P07-7	高用量オキシコドンを用いても疼痛コントロールに難渋しくも膜下モルヒネ投与を併用した一例 上杉 文彦(独立行政法人 国立病院機構 東広島医療センター 緩和ケアチーム)	272
P07-8	モルヒネ水から塩酸モルヒネ錠への変更について	272
P07-9	神経障害痛に効果的であったトラマドールの1例	272
P07-10	先行オピオイドからメサドンへの変更方法に関する5例の検討	273
PO8 オピオィ	6月20日(金)14:00-15: パスター会!	
	座長:中保 利通(東北大学大学院医学系研	究科)
P08-1	セツキシマブ併用放射線療法による粘膜皮膚炎に対する疼痛コントロールの現状 ····· 角 裕子(京都大学 医学部 附属病院)	273
P08-2	血液透析がフェンタニル血中濃度の変化と疼痛に与える影響を検討した大腿平滑筋肉腫の1例 大澤 岳史(帝京大学 医学部 緩和医療学講座)	273
P08-3	メサドン塩酸塩錠にて鎮痛効果が得られた一例 岩舘 純子(成田赤十字病院 薬剤部)	273
P08-4	フェンタニル耐性を獲得したがん性疼痛の緩和に換算量以下のオキシコドン注射薬が奏効した1例 ····· 須藤 一郎(島根大学医学部附属病院緩和ケアセンター)	274
P08-5	高齢者のがん患者疼痛緩和においてトラマドール塩酸塩でのせん妄を経験した例	274
P08-6	完全な除痛への強い欲求がオピオイドへの依存を形成したと考えられた子宮頸癌旧肛門痛症例 ····································	274
P08-7	覚醒剤依存症の既往のあるがん患者のがん性疼痛への対応--例報告- 林 優美(広島大学病院 緩和ケアチーム室)	274
P08-8	骨転移を伴う腎癌患者に対するメサドンの使用経験	275
P08-9	高用量フェンタニル貼付剤からメサドン錠への切替方法に関する考察 ~推奨換算比による全量切替によって疼痛が増強したS状結腸癌の仙骨転移の1例~ 松原 貴子(市立伊勢総合病院 麻酔科 がんサポートチーム)	275
P08-10	オキシコドン注射液から塩酸モルヒネに変更して腹部膨満感が緩和された2症例の報告 大井 裕子(聖ヨハネ会桜町病院 聖ヨハネホスピス)	275
PO9 オピオィ	6月20日(金)14:00-15: イ ド以外の痛みの薬物療法1 ポスター会	
	座長:奥山 慎一郎(山形大学医学部附属)	病院)
P09-1	緩和ケア病棟におけるステロイドホルモン投与の現状 白木 照夫(国立病院機構岩国医療センター緩和ケア)	275
P09-2	骨転移患者におけるゾレドロン酸水和物及びデノスマブの使用状況と臨床経過 ····· 義川 祐子(宮崎県立宮崎病院 麻酔科)	276

P09-3	呼吸器外科手術後における肋間神経痛に対するプレガバリンの治療効果に関する検討 · 庄司 文裕(公立学校共済組合 九州中央病院 外科)	276
P09-4	当院緩和ケアチームにおけるがん由来の神経障害性疼痛に対する抗うつ薬処方症例の検 京坂 紅(埼玉県立がんセンター 緩和ケア科)	討 ······ 276
P09-5	難治性がん性痛に対するデュロキセチンの効果	276
P09-6	緩和医療における代謝学的なコルチコステロイド適正使用の効果	277
P09-7	がん疼痛に対するケタミン注とオピオイドローテーションの有効性に関する後方視的 時任 高章 (静岡がんセンター 緩和医療科)	討 ······ 277
P09-8	緩和ケアチーム介入を必要としたがんの痛みに対する治療の検討 赤羽 日出男(日本医科大学 武蔵小杉病院 緩和ケアチーム)	277
P09-9	癌性腹膜炎に伴う突出痛に対するデュロキセチンの使用経験 黄 哲守(千葉県立佐原病院 外科)	277
PO10 オピオイ	イド以外の痛みの薬物療法2	6月20日(金)14:00-15:00 ポスター会場1
	座長:小西 洋子	(京都府立医科大学附属病院)
P010-1	DICによる四肢遠位側の壊死痛に対し、トラマドール持続静脈内投与が著効した症例 · 花木 宏治(市立長浜病院 外科)	278
P010-2	静脈性下腿潰瘍に伴う慢性疼痛に対してプレガバリンが有効であった一例平野 茂樹 (小牧市民病院 薬局)	278
P010-3	がんの膀胱浸潤を伴う排尿時痛に対しプレガバリンが有用であった1例 ····································	278
P010-4	当院緩和ケア病棟における難治性疼痛に対するケタミンの使用経験福田 暁子 (沖縄病院緩和医療科)	278
P010-5	疼痛コントロールに烏頭剤を用いた2症例 金子 明代(福島県立医科大学 会津医療センター 漢方医学講座)	279
P010-6	神経障害性疼痛に対するプレガバリンの使用経験 澤村 明廣(県立安芸津病院 外科)	279
P010-7	在宅ケタラール持続皮下注射により左肩放散痛をコントロールできた左横隔膜浸潤を併 栗栖 泰郎(国立病院機構 浜田医療センター)	⇒う再発胃癌の1例 ···· 279
P010-8	食道癌の放射線治療後の神経障害性疼痛を疑った胸部痛にプレガバリンが奏功した一例 山代 亜紀子(京都府立医科大学 疼痛緩和医療学講座)	 279
PO10-9	リベド血管症に伴う下肢神経障害性疼痛に対してメキシレチン塩酸塩内服と	
	リドカインゲル塗布が有効だった1例	280
PO10-10	脊椎転移によるがん性疼痛に対するくも膜下ベタメタゾン投与法が長期にわたり有効で 重臣 宗伯(市立秋田総合病院 緩和ケアチーム)	あった2例 280
P011		6月20日(金)14:00-15:00
	7リニック・神経ブロック1	ポスター会場1
		(佐賀県医療センター好生館)
P011-1	緩和ケアチームにおける神経ブロック療法の治療効果	
P011-2	鎮痛方法を持続硬膜外ブロックからオキシコドン持続皮下投与に変更した一例 藤田 靖明(豊橋医療センター)	
P011-3	オピオイド増量困難な癌性疼痛に対し、不対神経節ブロックが有効であった2症例 … 小島 康裕(JA愛知厚生連豊田厚生病院 麻酔科)	281

P011-4	大量のモルヒネ静脈内投与を必要としたS状結腸がん患者の下腹部痛に対し、 上下腹神経叢ブロックが奏功した一症例 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	281
P011-5	硬膜外持続鎮痛法で痛みのコントロールをおこなった妊娠中の膵がん患者の1例 栗山 俊之(和歌山県立医科大学附属病院 腫瘍センター)	281
P011-6	持続くも膜下ブロックによる癌性疼痛コントロールで在宅へ移行できた一例 高江 芳恵 (鹿児島大学)	281
P011-7	腹水濾過濃縮再静注法(KM-CART)とコーンビームCTガイド下内臓神経ブロックを 花田 留美(日本生命済生会付属日生病院 麻酔・緩和医療科)	: 併用した2症例 282
P011-8	帯状疱疹後神経痛に対する脊髄刺激療法(自宅での生活を快適にするために) 松下 至誠(貝塚病院 麻酔科)	282
P011-9	テトラカインとロビバカインを併用した助間神経ブロックを施行した助間神経浸潤肺が 駒澤 伸泰(大阪医科大学麻酔科学教室)	ぶんの一例 282
PO12 ペインク	リニック・神経ブロック2	6月20日(金)14:00-15:00 ポスター会場1
	座長:關本 翌子(国	国立がん研究センター東病院)
P012-1	dry spinal tapのため脊髄持続くも膜下ブロックが施行できなかったがん性痛患者の高橋 麗子(石川県立中央病院 緩和ケアチーム)	症例 ······ 282
P012-2	効果があまり期待されなかった腹腔神経叢ブロックが有効であった一例 樋口 比登実(昭和大学病院 緩和医療科)	283
P012-3	大量腹水貯留に伴う腰背部痛にトリガーポイント注射が有効であった3症例福島 豊(京都府立医科大学 疼痛緩和医療学講座)	283
P012-4	がん化学療法による神経障害の関与により、術後疼痛が再燃したと思われる症例の治療 松原 陽子(独立行政法人 国立病院機構 刀根山病院 緩和ケアチーム)	経験283
P012-5	放射線治療中の痛みに対する麻酔科的鎮痛手技とその適応について 敦賀 健吉(北海道大学病院 腫瘍センター 緩和ケアチーム)	283
P012-6	前胸部の癌性疼痛に対し、パルス高周波法を含めた神経ブロックが有用であった一例 · 前田 薫(新潟大学医歯学総合病院 麻酔科)	284
P012-7	乳がん切除後疼痛症候群の症状に超音波ガイド前鋸筋膜面ブロックが著効した一症例 · 西島 薫(市立池田病院 麻酔科 緩和ケアチーム)	284
P012-8	当院における緩和ケア支援チームと麻酔科の関わり 鈴木 秀明(東邦大学医療センター大森病院 緩和ケア支援チーム)	284
P012-9	硬膜外ブロック、局所麻酔薬の利点を利用することで満足のいく鎮痛を得ることができ 尾崎 鈴子(札幌厚生病院 緩和ケア内科)	た1症例 284
PO13 痛みの剥	薬物療法、トータルペイン	6月20日(金)14:00-15:00 ポスター会場1
		会医療法人栄光会 栄光病院
P013-1	悪性腫瘍の胸壁浸潤による痛みには放射線治療が有効である 永倉 久泰 (KKR札幌医療センター)	285
P013-2	治療前の患者自身の疼痛改善度予測が、疼痛予後に与える影響について 〜良くなると思う患者ほど良くなる〜 松岡 弘道(近畿大学医学部附属病院がんセンター緩和ケア室)	285
P013-3	難治性疼痛保有患者理解への構造構成主義導入の有用性 中澤 秀雄(磐田市立総合病院 緩和医療科)	285
P013-4	看護師を対象とした「がん哲学外来」を紹介する院内講演会の試み 山田 圭輔(金沢大学 附属病院 緩和ケアチーム)	285

PU13-5	ま者の1例	286
P013-6	Pancoast腫瘍による難治性疼痛症例に対する患者・家族の希望に沿った対応 仲森 由香 (大阪厚生年金病院)	286
P013-7	クローン病患者の疼痛コントロールへの関わり ~治療経験を踏まえた自己効力感を獲得するための介入について~ 山口 ひろみ(神奈川県立病院機構 神奈川県立足柄上病院)	286
P013-8	全人的医療により大量のオピオイドを半減できた一例 村田 昌彦(近畿大学 医学部 附属病院 心療内科・緩和ケア科)	286
P013-9	難治性疼痛を伴った全人的苦痛のケアに苦慮しつつ一般病棟で看取った 1 症例	287
PO14 その他の	6月20日(金)14:00-15: 2宿みに関するもの 1 ポスター会場	
	座長:瀧川 千鶴子(KKR札幌医療セン)	ター)
P014-1	難治性がん疼痛への対処法に関する認識調査 市川 直明(長野赤十字病院 緩和ケアチーム)	287
P014-2	医療用麻薬自己管理に向けた取り組み一看護師の意識調査よりー	287
P014-3	一般病院における骨転移診療の問題点について 小山 忠昭(沼津市立病院 リハビリテーション科)	287
P014-4	悪性腸腰筋症候群の臨床像と薬物治療についての調査	288
P014-5	がん疼痛における夜間痛の調査	288
P014-6	新しい緩下剤ルビプロストンの使用動向と今後の課題 渡辺 昭彦(札幌医科大学附属病院 緩和ケア管理室)	288
P014-7	有痛性多発骨転移の疼痛緩和における塩化ストロンチウム89治療の位置づけ 米谷 卓郎(独立行政法人 国立病院機構 大分医療センター 緩和ケアチーム)	288
PO15 その他の	6月20日(金)14:00-15:)痛みに関するもの2 ポスター会 ¹	
	座長:林 章敏(聖路加国際)	病院)
P015-1	レスキュードーズ使用に影響する看護師の思い〜看護師のアンケート調査〜 中川 ひろみ (神奈川県立循環器呼吸器病センター)	289
P015-2	疼痛を有する死期がせまったがん患者に対するオピオイド製剤投与に関する後方視的検討 前田 剛司(春日井市民病院 薬剤部)	289
P015-3	リウマチ性多発筋痛症様症状が出現した終末期がんの1例 高橋 有我(独立行政法人国立病院機構 西群馬病院 緩和ケア科)	289
P015-4	多発骨転移患者に対する塩化ストロンチウムSr89治療に対する検討 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	289
P015-5	子宮体癌術後、放射線治療後の慢性疼痛が手術によって手術にて症状が著明に改善し、 オピオイド離脱ができた 1 症例 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	290
P015-6	悪性腸腰筋症候群5症例の検討 鄭 陽(聖隷三方原病院 ホスピス科)	290
P015-7	演題取り下げ	

P017-1

P017-9

	座長:奈良林 至(昭和大学横浜市北部病院)
P016-1	非定型抗精神病薬オランザピンは、食思促進ペプチドのグレリンによるシグナルを増強する: グレリン発現細胞を用いた検討
P016-2	緩和治療対象患者に対して行った心理検査STAI、BDI-2の検討
P016-3	終末期がん患者におけるトランスサイレチンとアミノ酸の動態
P016-4	Mohs' ペーストの薬理学的検討〜虚血マウスを用いた血流量の変化に関する研究〜 … 291 村田 実希郎 (横浜薬科大学 薬学部 薬剤学研究室)

 P016-5
 当院での乳癌終末期における緩和ケアの現状報告 ……
 291

 和田 康雄(独立行政法人 国立病院機構 姫路医療センター 緩和ケアチーム)

 P016-6
 呼吸困難に対するモルヒネ水(院内製剤)使用状況の検討 ……
 292

 許山 美和(山梨県立中央病院 緩和ケア科)

 PO16-7
 がん患者の呼吸困難に対するオキシコドンの有用性について
 292

 佐藤 晶子 (藤沢湘南台病院 内科)
 かん終末期患者の呼吸困難症状緩和
 292

 PO17
 6月20日(金)14:00-15:00

 呼吸器症状
 ポスター会場2

藤川 文子(医療法人社団修生会 さくさべ坂通り診療所)

座長:片山 英樹(国立病院機構 山口宇部医療センター)

	森 雅紀(聖隷浜松病院 緩和医療科)	
P017-2	緩和ケア病棟におけるがん終末期死前喘鳴に対する抗コリン薬の有効性についての検討 出口 裕子(小牧市民病院 薬局)	293
P017-3	終末期がん患者における鼻腔ケアの重要性について	293
P017-4	転移性肺腫瘍に伴う慢性咳嗽に対しプレガバリンが奏功した一例	293
P017-5	がん患者の呼吸器症状に対する気道ステント治療の経験 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	293
P017-6	がん末期呼吸不全に対する酸素マスク使用による苦痛を鼻腔高流量酸素療法により軽減し得た一例 ··········· 前川 敦(小牧市民病院 緩和ケア病棟)	294
P017-7	胸腔内カテーテル皮下ポートシステム留置下の、胸水濾過濃縮再静注法(CART)により、 長期自宅療養が可能であった肺癌の1例 竹内 愛(日本赤十字社医療センター 緩和ケア科)	294
P017-8	がん性胸水に対するタルクの使用経験	294

PO186月20日(金)14:00-15:00消化器症状1ポスター会場2

吉田 奈美江(社会医療法人 社団 カレスサッポロ 時計台記念病院 看護部)

上気道閉塞による呼吸困難を認めた舌がんの一例 ------ 294

座長:山﨑 正晴(奈良県立医科大学附属病院)

 P018-1
 当院における癌性腹水に対するCARTの運用経験
 295

 田口 泰郎(名古屋第二赤十字病院 緩和ケアチーム)

PO18-2	福患者の悪心・嘔吐に対するオランザピンの有効性の検討 横道 直佑(岡山大学病院 緩和支持医療科)	295
P018-3	癌性腹水に対する積極的症状緩和 ~ KM-CARTによる全量ドレナージとオーダーメイド癌治療への活用~ 松崎 圭祐(要町病院 腹水治療センター)	295
P018-4	当院緩和ケア病棟で施行した消化管ステント症例の検討 岩田 尚士 (医療法人社団曙会シムラ病院 緩和ケア病棟)	295
P018-5	大腸癌イレウスの治療方針 堀木 優志(市立伊丹病院 緩和ケアチーム)	296
P018-6	KM-CART施行における症状緩和の検討 ····································	296
PO18-7	オピオイド導入時に併用する制吐剤処方についての実態調査 ················ 十九浦 宏明(名古屋大学医学部附属病院 化学療法部)	296
PO18-8	嘔気・嘔吐症状に対する当院でのオランザピン使用状況についての考察 … 永縄 由美子(市立室蘭総合病院 緩和ケアチーム)	296
PO18-9	オピオイドによる悪心に対するペロスピロン有用性の検討 田上 恵太(国立がん研究センター中央病院 緩和医療科)	297
PO19 消化器	E状2	6月20日(金)14:00-15:00 ポスター会場2
		座長:鈴木 正寛(NTT東日本関東病院)
P019-1	当院におけるCARTの現状について石黒 要(富山県済生会高岡病院 緩和ケア委員会)	297
P019-2	オキシコドン徐放製剤内服開始時の悪心・嘔吐対策の必要についての検討 和泉 早智子 (医療法人 東札幌病院 薬剤課)	297
P019-3	難治性腹水に対する腹水濾過濃縮再静注療法(CART)による緩和治療: 改良型腹水濾過濃縮再静注システム(KM-CART)を用いて 鹿島 康薫(とちぎメディカルセンター とちの木病院 外科)	297
PO19-4	腹水濾過濃縮再静注法を施行した患者の治療効果に関するサイトカインの 伊藤 哲也(東京大学 がんプロフェッショナル養成プラン)	産生の場 298
P019-5	難治性腹水に対する腹水ろ過濃縮再静注法(CART)の有用性について 一腹部膨満感と食事摂取量の関係を中心に一淺野 寿利 (静岡済生会総合病院 緩和医療科)	298
P019-6	症状緩和を目的とした内視鏡的胃十二指腸ステント留置術の有用性 石井 要(公立松任石川中央病院 外科)	298
P019-7	癌性イレウスにともなう嘔吐にたいし漢方薬が有効であった 1 例 柿原 直樹(京都第二赤十字病院 緩和ケアチーム)	298
P019-8	乳癌終末期患者の食欲不振に対するプロゲステロン製剤の効果 ····································	299
P019-9	20年前に作成された回腸導管の過蓄尿が嘔気の原因と考えられた症例 … 奥津 輝男(鶴巻温泉病院 緩和ケア病棟)	299
PO20 消化器類	註状3	6月20日(金)14:00-15:00 ポスター会場2
		座長:今井 堅吾(聖隷三方原病院)
PO20-1	宿便による腸管粘膜損傷が大量下血の原因と考えられた剖検例 嶋田 和貴(地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪府立呼吸器・アレル・	299
P020-2	胃癌腹膜播種による大腸狭窄に対し、経肛門的イレウス管による減圧がQC 岡本 哲郎(札幌清田病院 消化器内科)	DLの維持に有効であった一例 299

P020-3	がん終末期の十二指腸通過障害に対する胃空腸バイバス症例の検討	300
PO20-4	在宅における自然落下CART(胸腹水濾過濃縮再静注法)	300
PO20-5	アナルプラグの使用で苦痛が軽減した難治性下痢の症例 ····· 渡邉 健司(静岡済生会総合病院 初期臨床研修医)	300
PO20-6	KM-CARTを施行した難治性腹水患者のQOL評価についていて竹下 智美 (三州病院)	300
P020-7	終末期患者の消化器症状に対して胃瘻造設が有用であった一例	301
P020-8	消化管・膵・胆道悪性腫瘍による十二指腸狭窄に対する十二指腸ステントの緩和的有用性 後野 礼(明和病院)	301
P020-9	消化管閉塞による嘔気嘔吐に対して集学的治療と全人的アプローチで取り組んだ胃癌再発の一例 前原 伸一郎(国立病院機構 九州がんセンター 消化器外科)	301
PO21 消化器		(金)14:00-15:00 ポスター会場2
	座長:太田 惠一朗	(聖路加国際病院)
P021-1	肺がん腹膜播種による腸閉塞への4剤併用療法が奏効した一例相木 佐代(大阪市立総合医療センター 緩和医療科)	301
P021-2	癌性消化管狭窄のため経口摂取困難な患者に対する看護介入 〜食への欲求が強い高齢患者2事例を通して〜 加藤 阿紀子(独立行政法人国立長寿医療研究センター)	302
P021-3	緩和治療中に生じたNSAIDs潰瘍の2例 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	302
P021-4	コントロールに難渋したオピオイドによる便秘に大黄甘草湯が著効した2例 ····································	302
P021-5	ルビプロストンが膀胱直腸障害のある脊髄腫瘍患者のオピオイド誘発性腸機能障害 (OBD) に 有用であった一症例 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	302
P021-6	嚥下困難に伴う不快な症状がステロイド使用により比較的速やかに緩和された頭頚部癌の2症例 澤田 憲朗(公立陶生病院 緩和ケア内科)	303
P021-7	当科におけるがん終末期での難治性腹水に対しCVカテーテル腹腔内留置を施行した少数例の報告 高橋 義和(大崎市民病院 腫瘍内科)	5 ······ 303
P021-8	がん患者の便秘に対してルビプロストンを使用した15例の検討 山崎 圭一(ベルランド総合病院 乳腺センター)	303
P021-9	腹水濾過再静注療法+ケナコルト腹腔内投与併用療法を行った8例の検討 山崎 圭一(ベルランド総合病院 乳腺センター)	303
PO22 食欲不	6月20日 (版・輸液・栄養・悪液質症候群 1	(金)14:00-15:00 ポスター会場2
		総合医療センター)
P022-1	「命のスープ」をもとにした院内食の開発と提供の経験	
P022-2	緩和ケア病棟での写真入りメニュー表での選択を実施して	304
P022-3	当院緩和ケアチームにおけるがん栄養管理マニュアル作成の取組みと今後の課題 ······ 江口 晶子(社会福祉法人 恩賜財団 済生会川内病院 栄養科)	304

P022-4	当院における終末期患者食の問題点を探る〜事例を通して課題を見出す〜
P022-5	終末期緩和ケアにおけるCVポートの有用性の検討
P022-6	終末期がん患者の栄養補給に関する病棟看護師の意識調査 305 須原 由紀(藤田保健衛生大学病院 看護部)
P022-7	終末期がん患者に対する死亡前1週間の輸液療法の検討
P022-8	輸液治療が終末期患者へ及ぼす影響 305 森 麻衣子(多根総合病院)
P022-9	終末期がん患者に対してベッドサイドで無透視下に行う末梢挿入型中心静脈カテーテル (PICC) 挿入の 安全性の検討 306 斉藤 英俊 (水戸済生会総合病院 緩和ケア診療科)
P022-10	BIA法を用いた癌患者の栄養評価の試み
PO23 食欲不振	6月20日(金)14:00-15:00 最・輸液・栄養・悪液質症候群2 ポスター会場2
	座長:髙橋 秀徳(セレンクリニック福岡)
P023-1	当科におけるがん終末期輸液療法の状況 306 郷右近 祐司(岩手県立胆沢病院 外科)
P023-2	終末期がん患者の経口摂取がQOLに及ぼす影響
P023-3	がん終末期患者における経腸栄養食品アイスクリーム化による喫食量増加の効果 ····································
P023-4	当院における終末期がん患者に対する輸液療法の現状 30% 坂上 洋子 (獨協医科大学越谷病院 薬剤部)
P023-5	当院における担癌患者の内視鏡的胃瘻増設術の有用性の検討
P023-6	切除不能進行膵癌症例に対する栄養療法の癌化学療法への影響
P023-7	進行癌患者の摂食回復支援食「あいーと」摂取が「食力」に与える影響
P023-8	終末期がん患者への輸液療法に対する看護に関する実態調査-A県を対象として-
P023-9	消化管狭窄を合併した患者への管理栄養士による面談実施について〜外出・退院への支援〜
P023-10	摂食回復支援食「あいーと」の脳転移を伴う終末期肺癌患者に対する使用経験
PO24 しびれ、	6月20日(金)14:00-15:00 倦怠感
	座長:吉澤 明孝(要町病院)
P024-1	がん治療に関連して発症した神経障害性疼痛に対してデュロキセチンが有効であった2症例
P024-2	当院における末梢神経障害に対するデュロキセチン使用症例についての検討
P024-3	化学療法誘発性末梢神経障害性疼痛に対するデュロキセチンの効果 (FACT-NTXによる評価) 309 大熊 加惠 (東京大学 医学部 附属病院 緩和ケア診療部)

P024-4	緩和ケアのエキスパートナースによる終末期がん患者の倦怠感に関するアセスメン 池内 香織(大阪府立大学 地域保健学域 看護学類)	・ トとケアの実態 309
P024-5	非特異的表現形式のレストレスレッグス症候群と診断された、がん患者の下肢倦怠 ロチゴチンを用いて治療した前後比較研究 木内 大佑(筑波メディカルセンター病院 緩和医療科)	感に対し、 310
P024-6	がん患者の倦怠感と疼痛、QOLに関する観察研究 岩瀬 哲(東京大学 医科学研究所附属病院 緩和医療科)	310
P024-7	高齢患者の全身倦怠感に関する多次元的尺度を用いた評価の検討 松井 美帆 (奈良県立医科大学)	310
P024-8	がん患者の全身倦怠感に対する十全大補湯の有用性 ····· 鈴木 晶子(独立行政法人 国立病院機構 函館病院 緩和ケア科)	310
PO25 泌尿器	症状、リンパ浮腫・浮腫・皮膚症状	6月20日(金)14:00-15:00 ポスター会場2
	座長:安藤 秀明	月(秋田大学大学院医学系研究科)
P025-1	泌尿器科領域の緩和医療研究会開催に関する検討 中村 一郎(神戸市立医療センター西市民病院泌尿器科)	
P025-2	尿管圧迫を伴う悪性リンパ腫に対する尿管ステント留置の有効性 間部 賢寛(生長会府中病院 血液疾患センター)	311
P025-3	前立腺癌終末期における泌尿器科的合併症:初期治療別の検討 ····································	311
P025-4	膀胱悪性腫瘍による膀胱出血に対して1%ミョウバン水持続灌流療法を行った中等 松本 禎久(国立がん研究センター 東病院 緩和医療科)	度腎機能障害の2症例 311
P025-5	当院における婦人科がん術後リンパ浮腫発症予防についての取り組み ····· 有坂 美佳(昭和大学横浜市北部病院 看護部)	312
P025-6	外来化学療法センターにおけるリンパ浮腫患者への介入状況と今後の課題 林 真奈美(名古屋第二赤十字病院 看護部)	312
P025-7	緩和ケア病棟に於ける褥瘡処置のあり方について	312
P025-8	患者様のQOLの維持・向上を目指して〜浮腫のアセスメントシートを多職種で活用 越智 美喜(尾道市公立みつぎ総合病院)	利して~ 312
P025-9	終末期がん患者のリンパ浮腫ケアの実際 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	313
P026 リンパ	孚腫•浮腫•皮膚症状	6月20日(金)14:00-15:00 ポスター会場2
	座長:井沢	! 知子(京都大学医学部附属病院)
P026-1	がん性腹水患者の下肢浮腫に対するKM-CART並びに圧迫包帯の効果 ······ 佐々木 恵(医療法人社団 愛語会 要町病院 看護部)	313
P026-2	当院緩和ケア病棟における褥瘡患者の現状 中川 理子(藤田保健衛生大学 外科・緩和医療学講座)	313
P026-3	前立腺がん患者の臀部巨大褥瘡に対して帰者建中湯が奏功した1例 ············· 大武 陽一(近畿大学医学部附属病院 心療内科・緩和ケア科)	313
P026-4	モーズペーストとホルモン療法を経て手術が可能となった乳癌患者の一例 ······· 矢部 浩美(草加市立病院 看護部)	314
P026-5	悪性リンパ浮腫への対応 ~複合的理学療法と精神的サポートによって奏効した一事 椿 浩美(埼玉県済生会川口総合病院 緩和ケアチーム)	\$例~ ······ 314
P026-6	40歳代終末期がん患者の両下肢リンパ浮腫ケアの効果と意義 牧原 りつ子 (唐津赤十字病院)	314

P026-7	『 その浮腫は本当にがん末期の浮腫ですか? 』	314
PO26-8	進行性乳癌、タキサン製剤投与後に出現した強皮症様皮膚硬化を伴う難治性リン取り組んだ効果と課題 中林 淳子(日本大学医学部附属板橋病院 乳腺内分泌外科外来)	
PO26-9	終末期の下肢・陰部浮腫に対する複合的治療がADL向上につながった症例 中森 久美子(大阪府立病院機構 大阪府立成人病センター 看護部)	315
PO27 口腔の問	3題	6月20日(金)14:00-15:00 ポスター会場2
		座長: 大野 友久(聖隷三方原病院)
P027-1	緩和医療に対する歯科の取り組み 金森 大輔(藤田保健衛生大学医学部 歯科)	315
P027-2	口腔ケア統一化の取り組み福田 まさみ(社会医療法人 同仁会 耳原総合病院 緩和ケア病棟)	315
P027-3	造血幹細胞移植を受ける患者の口腔粘膜障害に伴う苦痛と苦痛緩和の検討 村越 安佐子(東海大学 健康科学研究科)	316
P027-4	緩和ケア病棟と院内歯科の連携ー予後予測と摂食状況と歯科依頼との関連ー … 向山 仁 (横浜市立みなと赤十字病院 歯科口腔外科)	316
P027-5	緩和ケアチーム・歯科連携により口腔内トラブルの改善を認めた終末期患者45 早川 直子(けいゆう病院 緩和ケアチーム)	E例の報告 ······ 316
P027-6	分子標的薬と併用するがん化学療法時に生じる口腔粘膜炎治療に対する桔梗湯の 山口 明浩(京都山城総合医療センター))可能性について 316
P027-7	OAGを用いた口腔内評価の緩和ケア病棟への導入 ~口腔機能の改善により患者・家族のQOLが向上した一例~ 久保木 優佳(星総合病院 緩和ケア病棟)	317
P027-8	悩んでいますー進行した末期上顎歯肉癌患者に対する緩和ケア治療ー 川井田 浩一(鹿児島県立北薩病院)	317
P027-9	多職種・家族の協力で口腔ケアを行い口腔内疼痛緩和が得られた舌癌の一症例 鍜治 圭子(一般社団法人 玉名郡市医師会立 玉名地域保健医療センター 緩和ケ	
P027-10	舌がん患者の流涎にスコポラミン軟膏が有効であった一例	317
P027-11	ペ メトレキセド維持療法中に顎骨壊死が疑われた1例	318
P027-12	放射線治療に起因する口腔粘膜炎に対し桔梗湯が有効であった一例	318
2000		0.00.00.00.45.00
PO28 脊髄圧)	〕・脳転移・痙攣、感染症、高カルシウム血症	6月20日(金)14:00-15:00 ポスター会場2
		座長:新城 拓也(しんじょう医院)
P028-1	くも膜下ステロイド投与とグリセオール点滴を用いて下肢痛を改善した1症例 · 駒澤 伸泰(兵庫県立がんセンター緩和ケア内科)	318
P028-2	転移性脳腫瘍に伴う難治性頭痛、嘔気に対し補完的漢方薬治療が有効であった2 村松 雅人(JA愛知厚生連 豊田厚生病院 緩和ケア内科)	:症例 318
P028-3	1緩和ケア病棟における感染症に対する抗菌薬治療の実態調査 上林 孝豊(京都民医連中央病院呼吸器外科兼務緩和ケア内科)	319
P028-4	癌終末期緩和医療における経静脈的な真菌感染症治療の指標としての血中β-D- 有用性の検討・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	菊岡 修一(昭和大学横浜市北部病院 緩和医療科)	

PU28-5	株和ケア病棟にあける、セフトリアキソンの皮ト点凋使用と奏切率 小田切 拓也(聖隷三方原病院 ホスピス科)	
P028-6	緩和病棟入院患者における血清プロカルシトニン値の検討 大湾 勤子(国立病院機構沖縄病院 緩和医療科)	319
P028-7	前立腺癌、多発骨転移に対してdenosumab投与後、Ca製剤服用下に拘わらず著し 1例・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	西谷 仁(北摂総合病院)	320
P029	4985	6月20日(金)14:00-15:00
业 液子的	内問題、オンコロジーエマージェンシー	ポスター会場2
P029-1	腫瘍出血に対する止血目的の1日8Gy短期緩和照射 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	座長:照井 健(東札幌病院) 320
P029-2	緩和ケアにおける濃厚赤血球輸血によるQOLの変化 ~ IDAS (Integrated Distress-Activities score) を用いて輸血の効果を設 佐藤 将之 (川崎市立井田病院かわさき総合ケアセンター)	平価する~ 320
P029-3	下咽頭癌からの出血に対してアルギン酸塩被覆材が有効であった1例 黒澤 永(行田総合病院 緩和ケア内科)	320
P029-4	がん終末期患者の肛門外突出型直腸静脈瘤出血に対し内視鏡的治療が奏効した1例 · 中野渡 正行(札幌厚生病院 緩和ケア内科)	321
P029-5	上部消化管の腫瘍出血に対してオクトレオチドが有効であったと考えられた4症例 · 工藤 尚子(がん・感染症センター都立駒込病院 緩和ケア科)	321
P029-6	ワーファリン・トラマドールの相互作用が疑われた脳出血の一症例 ·····藤田 和子(京都第一赤十字病院 緩和ケア内科)	321
P029-7	救急救命センターに搬入されたがん患者の動向	321
PO29-8	慢性腎不全に伴う低Ca血症ならびに高Mg血症の補正がQOL改善に有用であった乳 1例 ······· 神谷 浩平(山形県立中央病院 緩和医療科)	
PO30 予後予》		6月20日(金)14:00-15:00 ポスター会場2
	座長	:白土 明美(聖隷三方原病院)
P030-1	Biochemical Prognostic Scoreにより予測された予後と比べ、実際の予後が知 高橋 陽(君津中央病院 緩和医療科)	豆かったケースの検討 … 322
P030-2	予後予測ツールPPI (Palliative Prognostic Index) が適合しなかった症例に 筒井 哲也(岡山中央奉還町病院 緩和ケア科)	関する考察 322
P030-3	がん終末期予後予測因子としてのNeutorophil Lymphocyte Ratio (NLR)の有中村 陽一(東邦大学医療センター大橋病院 緩和ケアチーム)	用性に関する検討 322
P030-4	非根治癌患者における生物学的予後スコア第2版の予測精度と妥当性の前向き検証 — Palliative Prognostic Index、腫瘍医の予後予測との比較 — ··············· 大道 雅英(長野市民病院 緩和ケア内科・緩和ケアチーム)	323
P030-5	演題取り下げ	
P030-6	終末期悪性黒色腫患者の予後予測(Palliative Prognostic Index:PPI、Palliat Score:PPS)に関する検討	
P030-7	終末期癌患者における予後指標としての簡易PPSの検証	323

P030-8	緩和ケア対象患者における、簡便な予後予測法の検討	324
PO30-9	末期が ん患者の急変〜急変は予測できたか〜 熊谷 晴子(市立 枚方市民病院)	324
P030-10	抗癌剤治療終了のタイミングを探る一消化器癌での検討	324
P030-11	ホスピス入院の意思決定に役立てるための紹介医の予後予測についての調査 … 齊藤 英一(ピースハウス病院)	324
PO31 苦痛緩和	 のための鎮静	6月20日(金)14:00-15:00 ポスター会場2
	座長:安保 博文()	国家公務員共済組合連合会 六甲病院)
P031-1	ターミナルセデーションに関わる緩和ケア病棟看護師の介入 ·····名越 恵美(岡山県立大学大学院 保健福祉学研究科 看護学専攻)	325
P031-2	当院ホスピスにおける深い持続的鎮静と患者背景、病棟の運営状況の関連 松尾 直樹(外旭川病院 ホスピス)	325
P031-3	呼吸器系悪性腫瘍における緩和的鎮静の現状および問題点の検討 匂坂 伸也(磐田市立総合病院 呼吸器内科)	325
P031-4	当院緩和ケア病棟における鎮静導入基準を施行した結果と今後の課題 ····· 齋藤 優生(石川県済生会金沢病院 緩和ケア病棟)	325
P031-5	鎮静の妥当性とミダゾラムの投与量に関する検討 林 誠(国立病院機構金沢医療センター緩和ケアチーム)	326
P031-6	終末期がん患者における鎮静導入に従事する医師に対する意識調査 山本 兼二 (旭川医科大学 麻酔・蘇生学講座)	326
P031-7	当院の在宅緩和ケアにおける鎮静についての検討	326
P031-8	当院における在宅終末期患者に対する持続的鎮静についての検討 岡田 豊(つばさクリニック)	326
P031-9	当院在宅緩和ケアにおける苦痛緩和を目的とした鎮静の現状について 今野 俊和(社会医療法人 栄光会 栄光病院ホスピス)	327
P031-10	婦人科悪性腫瘍末期における鎮静の現状	327
P031-11	血中濃度支援ソフトを利用したフェノバルビタールによる鎮静症例 田口 典子 (成田赤十字病院 薬剤部)	327
P031-12	ミタゾラムの少量持続静注内投与が、コントロール困難であった末期癌患者の	
	2症例	327
PO32 検査、薬	物相互作用、支持療法	6月20日(金)14:00-15:00 ポスター会場2
		座長:岡 義雄(西宮市立中央病院)
P032-1	がん終末期患者における電解質異常に関する考察 児玉 佳之(社会医療法人社団カレスサッポロ 時計台記念病院 消化器センター	
P032-2	がん終末期患者における血中アンモニアに関する考察 児玉 佳之(社会医療法人社団カレスサッポロ 時計台記念病院 消化器センター	
P032-3	前立腺癌末期にLDHの著明な上昇と乳酸アシドーシスを生じた1例 村瀬 樹太郎 (川崎市立井田病院 かわさき総合ケアセンター 緩和ケア内科)	328
P032-4	ボリコナゾールとオキシコドンの薬物相互作用によりせん妄が出現した胸腺癌の小西裕二(独立行政法人労働者健康福祉機構東京労災病院緩和ケアチーム)	D1例 328

P032-5	リファンピシンとオキシコドンの薬物間相互作用が疑われた一例	329
P032-6	化学療法を受けている患者の支えを知る	329
P032-7	肺がん治療におけるシスプラチン(CDDP)併用レジメンの腎障害に対する輸液療法の検討 ···· 廣正 拓也(国立病院機構 函舘病院 薬剤科)	329
P032-8	がん 診療連携拠点病院におけるリハビリテーション専門職の人員配置に関する調査 西山 菜々子(市立芦屋病院 リハビリテーション科)	329
P032-9	進行胃癌症例に対する緩和ケア介入による治療期間と入院期間の変化 大塚 正友(近畿大学 医学部 堺病院 緩和ケア科)	330
PO33 支持療法	6月20日(金)14 去	4:00-15:00 スター会場2
	座長:渡邊 紘章(小	()牧市民病院)
P033-1	がんとともに生きるための支援 第一報:外来化学療法室における悪心・嘔吐の実態調査 岩崎 多津代(熊本市立熊本市民病院 看護部)	
P033-2	外来化学療法と外来輸血件数および輸血関連有害事象発現に関する検討 草信 晴美(川崎医科大学附属 川崎病院 薬剤部)	330
P033-3	標準支持療法抵抗性の化学療法による難治性悪心・嘔吐に対するオランザピン併用の有用性の検討 … 安部 正和(静岡県立静岡がんセンター 婦人科)	330
P033-4	CDDP+ETP療法における食思不振に対してオランザピンを投与した精巣腫瘍の1例 ······ 斎藤 恭正(厚木市立病院 薬剤管理指導室)	331
P033-5	抗がん薬による末梢神経障害のしびれに対しデュロキセチンの効果があった症例 新行内 健一(渋川総合病院 緩和ケアチーム)	331
P033-6	当院における頭頚部がんに対するセツキシマブ併用化学放射線治療時の疼痛コントロールの現状森 由希子(京都大学 医学部附属病院 がん薬物治療科)	331
P033-7	胃癌再発癌性腹水に対して腹水濾過濃縮再静注療法後に腹腔内投与による化学療法を施行した2例 …森下 実(国家公務員共済組合連合会北陸病院 外科)	331
P033-8	化学療法剤誘発性末梢神経障害による痛みやしびれに対する理学療法の必要性 久保田 敬乃(東京慈恵会医科大学付属病院 麻酔科・ペインクリニック)	332
P033-9	多彩ながん終末期症状に対応するための漢方の役割	332
P034	6月20日(金)14	1:00-15:00
		スター会場2
	座長:丹田 滋(労働者健康福祉機構現	東北労災病院)
P034-1	症状緩和目的での緩和的分子標的薬治療トラスツマブ+ペルツムマブ(HER+PER)が有効であった 進行再発HER2陽性乳癌の3例	:
P034-2	抗癌剤治療を行った高齢進行期非小細胞肺癌患者の臨床経過と終末期の状況についての検討 松井 隆(聖隷三方原病院 呼吸器センター内科)	332
P034-3	モーズペーストと化学療法の併用で腫瘍縮小と症状改善を得た遠隔転移を伴う皮膚浸潤乳癌の1例 … 上野 聡一郎(医療法人社団愛友会 上尾中央総合病院 外科)	333
P034-4	膀胱全摘術後の骨盤内再発に対する化学療法が奏功し、会陰部痛が改善したためオキシコドンの投与が中止可能であった一例	
P034-5	がん化学療法を受ける患者の心理社会的問題に対するソーシャルワーカーの役割について 岡江 晃児(独立行政法人国立病院機構大分医療センター)	333

P034-6	慢性腎不全を合併した進行乳癌患者に対する化学療法の使用経験 沖代 格次(関西労災病院 乳腺外科)	333
P034-7	在宅で化学療法・輸血を継続し、QOLを維持しながら在宅看取りを実現できた何 ~高齢血液患者の在宅ターミナルケアのモデルケースとして~ 大橋 晃太 (川崎北部在宅診療所)	
P034-8	緩和ケア外来通院中、パゾパニブ投与に関連し急な転帰を辿った2例 板倉 崇泰(兵庫県立柏原病院 内科)	334
PO35 抗がんi	台療:放射線治療、外科治療	6月20日(金)14:00-15:00 ポスター会場2
		座長:加登 大介(虎の門病院)
P035-1	当院におけるサイバーナイフセンターと緩和ケア科の連携について 杉原 有希(つくばセントラル病院 緩和ケア科)	334
P035-2	顔面部への固形腫瘍遠隔転移に対する緩和的放射線治療について 阿部 円香(九州がんセンター 放射線治療科)	334
P035-3	進行胃癌における出血・狭窄症状に対して緩和的放射線療法を施行した2症例の 福田 耕二(岩手県立中央病院 がん化学療法科)	検討 335
P035-4	緩和照射の依頼から長期生存が得られている4期悪性リンパ腫の一例 片山 絵美子(奈良県立医科大学 放射線腫瘍医学講座)	335
P035-5	緩和ケア病棟入院中のがん患者に対する放射線治療の意義と問題 小橋川 初美(友愛会南部病院 緩和ケア病棟)	335
P035-6	切除不能膵頭部癌に対する緩和手術の検討 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	335
P035-7	大腸癌に対する腹腔鏡下緩和手術の検討	336
P035-8	当院消化器外科における進行・終末期癌患者に対する緩和手術に関する検討 児山 香(東北薬科大学病院)	336
P035-9	経口摂取不良となった根治切除不能胃癌に対する姑息手術症例の検討 吉本 美和 (鳥取大学医学部付属病院 病態制御外科学講座)	336
PO36 外科治療		6月20日(金)14:00-15:00 ポスター会場2
	座長:	坂本 雅樹(名古屋徳洲会総合病院)
P036-1	進行結腸直腸癌に対するステント治療を行った10例に関する臨床的検討 守 正浩(国立病院機構千葉医療センター 緩和ケアチーム)	336
P036-2	当科での緩和的人工肛門造設術の検討 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	337
P036-3	オピオイドを必要とする巨大な肝腫瘍に対する緩和的な肝切除術の経験 尾関 豊(木沢記念病院 緩和ケアチーム)	337
P036-4	保存的治療によって在宅療養が可能となった血管肉腫肺転移による難治性気胸の 若原 鉄平(高砂市民病院 緩和ケア内科)	1例 337
P036-5	終末期がん患者における消化管瘻孔の治療検討 吉田 良(関西医科大学 香里病院 外科 緩和ケアチーム)	337
P036-6	せん妄症状遷延が原因となり、緩和手術後もQOL改善が得られなかった胃癌の1 岩城 隆二(関西医科大学 滝井病院 外科)	例 338
P036-7	緩和ケアにおける胃瘻造設の検討	338
P036-8	当院における胃空腸バイパス術の適応基準と術後経過について	338

P036-9	脊椎転移に伴う緊急手術目的での病病連携と麻酔科・緩和ケアチームの関わり 棚橋順治(名古屋第二赤十字病院麻酔科)	338
P037 インタ・	ーベンショナルラジオロジー	6月20日(金)14:00-15:00 ポスター会場2
	座長:佐	藤 温(弘前大学大学院医学研究科)
P037-1	肝癌に対する経皮的ラジオ波焼灼治療における疼痛緩和 平野 玄竜(福岡大学 医学部 消化器内科)	339
P037-2	緩和ケア医からみたIVRの功罪	339
P037-3	腹腔静脈シャント術がQOL改善につながらなかった症例の検討 西尾 美帆(医療法人社団いちえ会 洲本伊月病院 緩和ケア外科)	339
P037-4	十二指腸ステント留置が症状を増悪させた胃癌狭窄症例の経験 ····· 原田 浩(国家公務員共済組合連合会 平塚共済病院)	339
P037-5	肝疾患終末期における緊急内視鏡検査および内視鏡的静脈瘤結紮術の現状 竹内 真実子(安城更生病院 消化器内科)	340
P037-6	金属ステント留置により症状緩和が得られた輸入脚症候群による閉塞性胆管炎の 戒能 聖治(山口大学大学院 医学系研究科 消化器病態内科))一例 340
PO38 その他(の痛み以外の身体症状・治療1	6月20日(金)14:00-15:00 ポスター会場2
		座長:山口 佳之(川崎医科大学)
P038-1	化学療法が無効のstageIVのがん患者に対するハイパーサーミアの効果とQOL 田口 宏一(砂川市立病院 外科)	の評価 ······ 340
P038-2	終末期癌患者の発熱に関する検討 西里 卓次(札幌清田病院 緩和ケア内科)	340
P038-3	当科における難治性の便秘に対するルビプロストンの使用経験 細沼 里江(埼玉県立がんセンター 緩和ケア科)	341
P038-4	当院緩和ケア病棟におけるステロイド使用の実態 ····· 横山 和彦(昭和大学横浜市北部病院 緩和医療科)	341
P038-5	がん終末期におけるステロイドパルス療法施行の実態 青野 奈々(国立病院機構大阪医療センター 緩和ケア内科)	341
P038-6	減圧PEGにおける経口摂取可能食品に関する検討 市場 尚子(社会医療法人カレスサッポロ 時計台記念病院 栄養管理部 栄養科)	341
P038-7	当科における中心静脈カテーテルを用いた難治性胸水・腹水ドレナージ法の報告 仁田 亜由美(佐賀県医療センター好生館 緩和ケア科)	; ······ 342
P038-8	局所進行乳癌に対するモーズ軟膏の使用経験 戸倉 英之(足利赤十字病院 外科)	342
P038-9	がん終末期における減圧PEGの効果と課題	
P039		6月20日(金)14:00-15:00
その他の	の痛み以外の身体症状・治療2	ポスター会場2
DO20 4		座長: 櫻井 宏樹(聖路加国際病院)
P039-1 P039-2	演題取り下げ 「食べたい」「食べさせたい」気持ちに応える スプレーボトルによる試み	
-003 - 2	「良へにい」「良へとしたい」 気持っに心える スノレーホトルによる試み 宍戸 智子(医療法人社団雄樹会 宍戸内科医院)	343

P039-3	Mohs Pasteを簡便に使用する剤形の工夫 (Mohs Paste湿布法) 343 久保田 丈太 (社団法人玉名郡市医師会立玉名地域保健医療センター)
P039-4	下咽頭癌リンパ節転移に合併した頚動脈洞症候群に対してミドドリンが有効であった一例 ·················· 343 大塚 貴博(筑波メディカルセンター病院 緩和医療科)
P039-5	不眠を訴え、宗教的背景のため長期高度貧血状態で経過した多発性骨髄腫における restless legs syndromeの一例
P039-6	医療用麻薬による便秘に水溶性食物繊維サプリ「サンファイバー」を用いた排便コントロールの検討 344 戸田 恵美子(下関医療センター)
P039-7	複数の原因によると思われる意識障害を来した一例
P039-8	原因不明の疼痛、呼吸困難の症状緩和に難渋し、デュロキセチンが著効した大腸癌の1例
PO40 抑うつ・	6月20日(金)14:00-15:00 不安、せん妄・不眠 ポスター会場1
	座長:山田 了士(川崎医科大学)
PO40-1	原発不明がん患者の告知による体験 - 原発不明がもたらす苦悩
P040-2	精神症状に抗てんかん薬が著効した癌患者の1例 345 南 大輔 (岡山大学病院 緩和支持医療科)
P040-3	オピオイドによるせん妄に対する緩和ケアサポートチームの取り組み
P040-4	終末期がん患者に対するmirtazapine投与量に関する考察~がん研有明病院緩和ケア病棟入院患者の解析~345佐伯 吉規(がん研究会有明病院 緩和治療科)
P040-5	緩和ケア病棟における過活動型せん妄患者に対する看護師のケアの質の向上への取り組み ~ ADSを用いた重症度評価およびせん妄の看護計画を使用して~
P040-6	向精神薬の持続皮下投与における皮膚有害事象の発生頻度の検討
P040-7	終末期がん患者のせん妄の前駆症状を捉える観察の視点
P040-8	がん患者の意思決定能力評価
P040-9	デクスメデトミジン使用で昼夜逆転が改善した2症例
PO40-10	数日間の持続的鎮静後にせん妄が改善した、脳実質浸潤を伴う終末期聴器癌患者の1例 347 小川 真生(金沢医科大学病院麻酔科)
PO41 精神·心	6月20日(金)14:00-15:00 理的ケア1 ポスター会場1
	·····································
P041-1	造血幹細胞移植を受けた患者の危機・危機回避要因ーアギュララとメズィックの危機モデルに基づいてー … 347 勝呂 瑞穂(石川県立中央病院)
P041-2	がん闘病記に表れるユーモアとQOLの関連について~ユーモアの臨床的有用性に関する検討~ 347 島本 裕美子(京都大学 学際融合教育研究推進センター)
P041-3	抗がん治療を行わない高齢がん患者のレジリエンス

P041-4	初回化学療法を受ける乳癌患者の心理的反応に関する検討 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
P041-5	メディカルカフェ (がんサロン) への参加ががん患者やがん患者家族に及ぼす影響 ~がんに関する心配への影響~ 348 車屋 知美 (社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部 福井県済生会病院)
P041-6	家族へ話さず、独りで抱えている患者の思いとは~意図的に語る場を作る意味を考える~
P041-7	がん終末期に家族関係が改善し、心理的負担が緩和した一事例 ····································
P041-8	「大腸癌終末期にディグニティーセラピーを行った一例」 349 齊藤 徳仁(甲府共立病院)
P041-9	補完代替医療を生きがいとした終末期患者の生きる希望を支えた1例
P041-10	進行食道がん診断の直後に縦隔穿孔を来し、短期間に多数の脅威に晒された がん患者への緩和ケア実践事例
P041-11	ミルタザピンによるアカシジアの一例
PO42 精神·心	理的ケア2ポスター会場1
	座長:大島 彰(国立病院機構 九州がんセンター)
P042-1	希死念慮のある患者に対するOCNS(がん看護専門看護師)活動の一考察
P042-2	誤嚥リスクの高い患者の食べたいニーズを支えた1事例 ~患者が穏やかさを取り戻し家族関係の修復に繋げた看護師の関わり~
P042-3	精神機能の異常による意識、活動性の低下を癌による不可逆的な身体機能の低下と誤って判断された 癌患者の一例
P042-4	揺れ動く終末期患者の心理過程ーイベントを通した信頼関係の再構築ー 350 桐葉 美希(石川県立中央病院 看護部)
P042-5	治療に拒否的な患者・家族に対して多職種による介入支援と目標設定の共有により自宅退院が可能となった 1 例
P042-6	その人らしさに繋がる語りから患者を支える心理的サポート
P042-7	マインドフルネス呼吸法の実践ががん患者の心理と予後に与える影響の可能性について ······ 351 森田 幸代 (滋賀医科大学付属病院腫瘍センター)
P042-8	ナラティブによって得られたもの〜ケアとして実践することの意味〜
PO42-9	肺がんで夫を亡くした胃がん患者の闘病期における心理過程にそった支援
PO42-10	「目に見える不安」を訴える進行乳癌患者への心理士としての関わり
PO42-11	緩和ケア認定看護師としてハイパーサーミアを担当した1事例 〜ナラティブアプローチによる語りの変化から〜

ハレフノ		4.212	۵۰%۱
		座長:岡本 拓也(洞爺温	温泉病院)
P043-1	在宅で行うディグニティセラピーの現状と課題		352
P043-2	緩和ケア病棟における看護師のスピリチュアルケアに関する現状調査 佐藤 あづさ(光ヶ丘愛世会 光ヶ丘スペルマン病院)		353
P043-3	終末期がん患者におけるスピリチュアルペインの概念分析森本 杏菜 (和歌山県立医科大学附属病院)		353
P043-4	在宅における終末期がん患者へのディグニティセラピーの効果〜セラピー実施後 皆川 美穂(訪問看護ステーション わたぼうし)	面接記録の分析より~ …	353
P043-5	終末期がん患者の苦痛に対する緩和デイケアの影響ースピリチュアルペインに焦点 住田 俊彦(公立学校共済組合 東海中央病院)	点を当ててー	353
P043-6	「終末期がん患者に対する病棟看護師ができるディグニティセラピーの実践報告」 「ディグニティセラピーの課題」 土井 三喜(林山クリニック 希望の家)		354
P043-7	「終末期がん患者に対する病棟看護師ができるディグニティセラピーの実践報告」 「ディグニティセラピーの臨床応用」		354
P043-8	終末期がん患者のスピリチュアルペインの緩和を目指して 一家族による絵本の読み聞かせを取り入れた事例 橋口 美由紀(国立病院機構 長崎病院)		354
P043-9	問題患者として現れたA氏の自律を支えるケア〜痛みのマネジメントや在宅療養な深谷 香織 (医療法人 真生会富山病院 緩和ケアチーム)	を実現できた要因とは~・	354
P043-10	「食」=「生」と捉えていた胃癌患者のスピリチュアルペインの軽減に取り組んだ新井 淳子(山口県立総合医療センター 看護部)	:1例	355
PO44 家族のク	rア・子どものケア 1	6月20日(金)14:00- ポスター	
	座長	: 秋月 伸哉(千葉県がんせ	2ンター)
P044-1	臨終期がんの親を看取る際の子供の苦悩とそれを支援する医療者の苦悩:質的調理 厚生労働科学研究費補助金がん臨床研究事業『がん診療におけるチャイルドサポー大谷 弘行(九州がんセンター 緩和ケアチーム)		355
P044-2	終末期を迎えた若年性がん患者の家族に対するケアリング 押江 香奈(社会福祉法人恩賜財団済生会支部 栃木県済生会宇都宮病院)		355
P044-3	高齢終末期がん患者の家族の思い 佐々木 一恵(大阪府 済生会 富田林病院)		355
P044-4	親のがんを幼いこどもたちにどう知らせていくか〜親の心情を理解する〜		356

P044-1	臨終期かんの親を看取る際の子供の苦悩とそれを支援する医療者の苦悩:質的調査 厚生労働科学研究費補助金がん臨床研究事業『がん診療におけるチャイルドサポート:小澤班』・・・・・・・ 355 大谷 弘行(九州がんセンター 緩和ケアチーム)	5
P044-2	終末期を迎えた若年性がん患者の家族に対するケアリング	5
P044-3	高齢終末期がん患者の家族の思い 35.5 佐々木 一恵(大阪府 済生会 富田林病院)	5
P044-4	親のがんを幼いこどもたちにどう知らせていくか〜親の心情を理解する〜	ô
P044-5	患者・家族ケアが死別後の遺族の悲嘆過程に及ぼす影響〜遺族会グループワークの記録より〜 356 緒方 幸恵 (医療法人 雪の聖母会 聖マリア病院)	6
P044-6	Caregiver Quality of Life Index - Cancer (CQOLC) 日本語版の信頼性・妥当性の検証 ··········· 356 清水 恵(東北大学大学院 医学系研究科 保健学専攻 緩和ケア看護学分野)	6
P044-7	緩和ケア病棟における「家族の関係」を支える看護実践	6
P044-8	がん患者とその子ども達のファミリーサポートプログラムの有用性と実施可能性:質的研究 357 川見 綾子(九州がんセンター 緩和ケアチーム)	7
P044-9	子育て世代のがん患者・家族への支援〜チャイルドケアプロジェクトの効果検証(2)	7

P044-10	家族が癒されれば患者も癒される~体外式超音波を用いた胃運動機能評価による 蓮尾 英明(国立がん研究センター東病院 緩和医療科)	検討~ 357
P044-11	患者と死についての話をすること・死を前提とした行動をとることは家族がここ	
	必須か?	357
PO45 家族のク	ア・子どものケア2	6月20日(金)14:00-15:00 ポスター会場1
		座長:谷 一彦(福井県済生会病院)
P045-1	急性期一般病院における終末期がん・非がん患者家族へのデスエデュケーション 工藤 真由子(聖隷横浜病院 看護部)	358
P045-2	親ががん終末期であることを子どもに伝える支援 山内 洋子(市立池田病院 緩和ケアチーム)	358
P045-3	母親の死期を子どもに伝え支える家族看護~子どもへのICとその後の反応から学 比留間 実保(公立大学法人 横浜市立大学付属 市民総合医療センター)	んだこと~ 358
P045-4	最期まで治療に希望を持ち続ける癌患者とその思いを気遣う高齢の両親を支援す 終末期の自宅療養を実現できた一例・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
P045-5	子どもに「死」を伝えるということ〜父の思いと子どもの死の死の準備教育につ 牧 香代子(愛知国際病院 ホスピス)	いて考える~ 359
P045-6	一般病棟で過ごす終末期患者夫婦への関わり〜小集団活動における緩和ケアグル 矢野 奈緒(地方独立行政法人 加古川西市民病院)	ープが関わった1事例~ … 359
P045-7	母親の看取りを決めた思春期の子供を支える難しさ	359
PO45-8	終末期患者の家族がぶつける怒り、その奥にある苦悩を支える森 友紀(公益財団法人 昭和会 今給黎総合病院 緩和ケアチーム)	359
PO46 家族のク	ア・子どものケア3	6月20日(金)14:00-15:00 ポスター会場1
		座長:竹内 麻里(慶應義塾大学)
P046-1	子育て世代のがん患者に対する支援について	360
P046-2	病状の悪化を受け入れ困難な家族の希望に寄り添うケアの実践 ····· 中安 千佳子(社会福祉法人 函館厚生院 函館五稜郭病院)	360
P046-3	予期悲嘆の家族への介入〜家族のセルフケア機能が回復し向上した事例を通して金城 ユカリ(社会医療法人敬愛会 中頭病院 看護科)	~ 360
P046-4	子どもをもつがん患者の思いが、他の子どもをもつ患者のケアにつながった症例 久保 佳子(帝京大学 医学部 緩和ケア内科)	360
P046-5	両親が積極的治療を希望しない乳児に対して気管切開術を選択した症例 津島 ゆかり(東京都立小児総合医療センター 総合診療科)	361
P046-6	余命1か月の患者の息子に対する悲嘆軽減のあり方	361
P046-7	厳格な夫のそばに居続けることを苦悩する家族へのケア 新沼 恵(公益財団法人 東京都保健医療公社 豊島病院 緩和ケア病棟)	361
P046-8	若年末期癌患者家族の未成年者に対するグリーフケアを行った2症例 保 清和(出水郡医師会広域医療センター)	361
PO46-9	小児がんの子どもに対する文化、言葉を超えた援助: 闘病期、死期において出来 金井 理恵(島根大学医学部小児科)	る事 ······ 362

座長:和田信(大阪府立成人病センター)

P047-1	遺族ケアの一環として取り組んだ遺族への手紙一看護師の気持ちの変化一 滝山 智子(がん・感染症センター 東京都立駒込病院 看護部)	362
P047-2	一般病棟における遺族会の現状と今後の課題 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	362
P047-3	緩和ケア病棟で行う遺族会のあり方―初めての遺族会を振り返って― 春岡 典子(兵庫県立加古川医療センター)	362
P047-4	I C G からみた悲嘆の構造	363
P047-5	高分子吸収体による詰め物の再考~遺族にとっての最良のエンゼルケアを考える ·· 柏崎 美津子(総合病院国保旭中央病院)	363
P047-6	緩和ケア病棟で行う遺族ケア―『旅立ち入浴』に参加した遺族の経験とうつの関係 北得 美佐子(関西医療大学 保健看護学部)	- 363
P047-7	遺族の不適応を予測するアセスメントツール作成に関する予備的研究 ····· 大和田 攝子(神戸松蔭女子学院大学 人間科学部 心理学科)	363
P047-8	J-HOPE2と比較した当院緩和ケア病棟の質の評価~認知症合併の有無に注目して 猪川 康子(西条愛寿会病院 緩和ケア病棟)	て~ 364
P047-9	自宅浴室での湯灌体験に対する家族の気持ち一悲嘆作業へのつながりから考える一野田京(株式会社GCI在宅ホスピス緩和ケア推進室)	364
P047-10	看護師による霊安室の評価と遺族ケアの現状	364
P047-11	急性期病院でのグリーフケアへの現状と取り組み 松若 元子 (川内市医師会立市民病院)	364
P047-12	当診療所の『お悔み訪問』の経験	365
PO48 相談支持	爰・がんカウンセリング 1	6月20日(金)14:00-15:00 ポスター会場1
		座長:菅原 よしえ(宮城大学)
PO48-1	急性期病院におけるがん看護専門看護師・認定看護師によるがん相談の取り組み … 江藤 美和子(社会医療法人生長会 ベルランド総合病院 看護部)	365
P048-2	当院におけるがん患者カウンセリングの現状と課題 ····· 寺田 喜美子(独立行政法人国立がん研究センター東病院)	365
P048-3	看護師、薬剤師、管理栄養士で結成したがん相談支援活動 室田 かおる(名古屋第二赤十字病院 看護部)	365
P048-4	がん 看護相談会 相談内容の実態	366
P048-5	石川県がん安心生活サポートハウス (がんサロン・つどい場はなうめ) の立ち上げる 龍澤 泰彦 (石川県済生会金沢病院 外科)	と今後の展望 ······ 366
P048-6	相談記入シート集計の経時的変化解析からわかるがん相談支援センターの機能 井上 玲子(青梅市立総合病院)	366
PO48-7	地域急性期病院の外来における、がん患者カウンセリングの現状報告 菊地 浩子(みやぎ県南中核病院 看護部)	366

	座長:清水 研(国立がん	J研究センター中央病院)
P049-1	日本におけるがん患者がビアサポートを得る機会の動向	367
P049-2	初回がん患者カウンセリング後の家族からの継続相談内容の分析	367
P049-3	当院における婦人科がん患者へのがん患者カウンセリングの内容と支援の現状 吹田 智子(箕面市立病院 緩和ケアチーム)	367
PO49-4	相談希望のない患者の潜在的相談ニーズについて 増田 由美(磐田市立総合病院 相談支援センター)	367
P049-5	看護相談を受けている肝細胞がん患者とその家族のQOLの縦断的な推移 庄村 雅子(東海大学健康科学部看護学科)	368
PO49-6	Web版: がん患者のための意思決定看護支援プログラムに関する実施可能性 ························· 川崎 優子(兵庫県立大学看護学部)	368
P049-7	終末期の病状変化についての情報提供とその時期 ····································	368
PO49-8	乳がん患者の告知から手術入院時の相談内容分析-告知時からのがん相談支援室の役割検討 池田 牧(鳥取県立中央病院 がん相談支援室)	368
P049-9	痛みを有するがん患者の希望とその把握方法に関する検討 寺井 智子(福井赤十字病院 がん診療センター)	369
PO50 ピアサ	6月 [†] ポ ート・患者会・家族会	20日(金)14:00-15:00 ポスター会場1
	座長:江口 惠子(社会医	療法人博愛会 相良病院)
P050-1	がん診療連携拠点病院でのピアサボート普及の課題	369
P050-2	がんサロンに参加したがん患者と家族の気がかりと心に残ったこと - 初回参加者とリピータ 荻野 晃子(愛知県厚生農業協同組合連合会 安城更生病院 看護部)	ーとの比較 ー … 369
P050-3	5年間の乳癌市民の会イベントにおける緩和ケアチームの役割と市民アンケート結果松野 多希子(JA山口厚生連 長門総合病院)	369
P050-4	沖縄県地域統括相談支援センターによるがんピアサポーター養成とその活動への支援 増田 昌人(琉球大学 医学部 附属病院 がんセンター)	370
PO50-5	胃がん患者と家族を対象にした調理実習を取り入れたがんサロンの開催 第2報 - 医療者から見たがんサロンの機能と課題 - · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	370
P050-6	院内乳がん患者会「ピーチ会」参加の効用と今後の展望 ····································	370
P050-7	生と死を宿坊で語り合う、「がん患者だけの集い」 宮本 直治(浄土真宗本願寺派 養源寺)	370
PO51 ピアサ	6月 プポ ート、社会的問題・就労	20日(金)14:00-15:00 ポスター会場1
	—————————————————————————————————————	(兵庫県立がんセンター)
P051-1	当院における独居世帯症例の看取り 大塚 正友(近畿大学 医学部 堺病院 緩和ケア科)	
P051-2	ピアサポーターの来談者への関わり方とピアサポートを継続していくために心がけているこ 山手 美和(国立看護大学校 看護学部)	371

P051-3	がん患者の「患者力」を高めるサポートプログラムの有用性の検討	71
P051-4	メディカルカフェ 金沢(がんサロン)における活動と今後の課題	71
P051-5	こころのサロンの効果と課題	72
P051-6	症例を通して緩和ケア病棟スタッフが「がんカフェ」に関わる意味を考える	72
P051-7	亡くなる直前までおしゃべりの会に参加した患者から学んだこと	72
PO52 ケアギハ	6月20日(金)14:00-15:00 ボーのストレス、コミュニケーション ポスター会場1	
	座長:齋藤 義之(新潟県立がんセンター新潟病院	宗)
P052-1	当院外科病棟スタッフが抱える緩和ケアへの困難感と緩和ケアチームに対する期待	
P052-2	終末期患者と関わる作業療法士の信念対立の対処法の特徴	73
P052-3	ワールド・カフェによる新しいデスカンファレンスの可能性	73
P052-4	- 般病棟で緩和ケアに関わるスタッフの負担軽減の一考察 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	73
P052-5	一般病棟看護師の「ターミナルケア態度」の関連要因の探索 ~看護師のやりがい、患者への親密感情との比較~ 37 遠山 由香梨(春日部市立病院 緩和ケアチーム)	73
P052-6	患者・看護師にとって心理的負担の少ないナースコールシステムのデザインの提案 ~ "命綱" から "きずな" へ~	74
P052-7	マッサージと患者の思いの表出との関連性について 37 下窪 里美 (天陽会中央病院)	74
P052-8	対応困難を感じた患者への関わりを振り返る~プロセスレコードの分析から~	74
P052-9	患者、家族との協働に向けた患者図書室「ぬくた〜らいぶらり」の活動報告	74
P052-10	緩和ケア病棟入棟時意向調査票の検討	75
PO53 アドバン	6月20日(金)14:00-15:00 パス・ケア・プランニング、 意思決定 1 ポスター会場1	
	座長:風間 郁子(筑波大学附属病院	皇)
P053-1	エンド・オブ・ライフケアを地域で推進するエンド・オブ・ライフケアファシリテータ(EOLF)養成研修の	٠,
1 000-1	試み	75
P053-2	高齢者の意思決定支援に向けたノート作成の取り組み~その人らしい生き方・逝き方を支えるために~ 37 新美 和代(独立行政法人 国立長寿医療研究センター 高齢者看護開発「ターミナルケア」チーム)	75
P053-3	アドバンス・ケア・プランニングへの取りくみーがん診療連携拠点病院婦人科としてー	75
P053-4	医療における意思決定支援を考える〜医療者自身の意思決定のワークショップを通じて〜	⁷ 6

P053-5	意思決定に関するアンケート調査からみえてきたもの〜患者背景による違い〜 … 尾崎 知博(鳥取大学医学部 病態制御外科)	376
P053-6	当院におけるリビング・ウィル、終末期医療意思表示の現状 砂田 祥司(呉医療センター・中国がんセンター 緩和ケア科)	376
P053-7	医療者が意思決定支援の難しさを感じる時:質的調査 〜緩和ケア普及啓発事業地域イベント関連企画in九州〜 大谷 弘行(九州がんセンター 緩和ケアチーム)	376
P053-8	厳しい状況の中で希望を支えること(医療者が考える希望とその対策): 質的調査 〜病院あげての意思決定支援推進プロジェクトの取り組み(1)〜 大谷 弘行(九州がんセンター 緩和ケアチーム)	377
P053-9	患者家族への意思決定支援啓発活動の有用性 ~病院あげての意思決定支援推進プロジェクトの取り組み(4)~ 大谷 弘行(九州がんセンター 緩和ケアチーム)	377
P054 アドバ	ンス・ケア・プランニング、意思決定2	6月20日(金)14:00-15:00 ポスター会場1
	座長:坂井 で	さゆり(新潟大学医学部保健学科)
P054-1	緩和ケアチームによるがん終末期の療養に関する意思決定支援の現状 阿部 泰之(旭川医科大学病院 緩和ケア診療部)	377
P054-2	術前がん患者とその家族の意思決定に関する意識調査 - 『ご病気に関する問診票』 白根 あゆみ(鳥取大学医学部付属病院 消化器外科)	を使用してー 377
P054-3	多様化する医療の中での、意思決定支援に対する医療者の認識 ~病院あげての意思決定支援推進プロジェクトの取り組み(2)~ 近松 あや(九州がんセンター 緩和ケアチーム)	378
P054-4	ACP推進にあたっての、医療者が考える困難点と良い点:質的調査 〜病院あげての意思決定支援推進プロジェクトの取り組み(3)〜 安部 陽子(九州がんセンター 緩和ケアチーム)	378
P054-5	医療者間コミュニケーション・ワークショップの有用性 ~病院あげての意思決定支援推進プロジェクトの取り組み(5)~ 白石 恵子(九州がんセンター 緩和ケアチーム)	378
P054-6	本邦におけるアドバンス・ケア・プランニングに関する研究動向 金井 恵美 (奈良県立医科大学附属病院)	378
P054-7	がん患者の臨死期における意思決定についての後方視的検討 ····· 栗秋 佐智恵 (医療法人 原三信病院 看護部)	379
P054-8	医療従事者はDNR指示をどのように捉えているか ~アンケート結果を通してDNR指示はどうあるべきかを考える~ 	379
P054-9	がん患者の意思決定に関する国内文献のシステマティックレビュー ················ 名越 恵美(岡山県立大学 保健福祉学部 看護学科)	379
P055 アドバ	ンス・ケア・プランニング、意思決定3	6月20日(金)14:00-15:00 ポスター会場1
	座長:森 一見	惠(愛媛大学大学院医学系研究科)
P055-1	アドバンスケアプランニング (ACP) の概念分析—2003 ~ 2012年海外論文の 谷本 真理子 (東京医療保健大学医療保健学部看護学科)	の分析から— 379
P055-2	最後の入院〜当院がん死亡退院患者の実情分析〜	380
P055-3	アドバンスケアプランニング (ACP) を有効に行うための問診票の活用 (4) ~ 問診票を活用した患者の死亡までの関わりの状況分析~	380
	深江 亜衣(社会医療法人博愛会 相良病院 看護部)	

P055-4	緩和医療科初診時と緩和ケア病棟入院時の意思確認~ ACPへの一歩~ 平野 拓司(岩手県立磐井病院 緩和医療科)	3	380
P055-5	『 認知症』を理由にがん未告知で在宅医療に紹介された症例の検討 日下部 明彦(みらい在宅クリニック)	······ 3	380
P055-6	進行乳がん患者の治療継続への意思決定の支援	······ 3	381
P055-7	患者の望む生き方を家族と共に支えたアドバンス・ケア・プランニング(ACP) 清水 美穂子(飯田市立病院)	の実践 ······· 3	381
P055-8	意思決定の過程や理由に踏み込み、問題解決を図った一例 清水 わか子 (君津中央病院 放射線治療科)	······ 3	381
P055-9	がんと共存し、その人らしい人生を生きる意思決定支援〜外来治療中から終末期の 岩崎 多津代(熊本市立熊本市民病院 看護部)	療養を考える~ 3	381
P056 アドバン	ノス・ケア・プランニング、意思決定4	6月20日(金)14:00-15:0 ポスター会場	
	<u>座</u> 長:松島	· · 英介(東京医科歯科大学大学	院)
P056-1	「治療拒否」の原因が精神遅滞による理解不足と考えられた進行乳がん患者の一例 遠山 啓亮(医療法人赤城会 三枚橋病院)	3	382
P056-2	緩和ケアチームとがん治療医が「患者の意思決定支援プロセスの重要性」を共有で 丸山 美香(新潟県立がんセンター新潟病院 看護部)	きた一例 3	382
P056-3	悪性リンパ腫の化学療法後に重篤な汎血球減少症を呈し、希死念慮を抱いた患者と 1例 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		382
P056-4	終末期がん患者の家族に対する、意思決定介入に難渋した一症例 京林 裕美 (医療法人仙養会 北摂総合病院)	3	382
P056-5	「人とのつながり」を大切に生きてきたがん患者の価値観を尊重した意思決定支援 守谷 祐希子(松山赤十字病院)	3	383
P056-6	せん妄治療の奏功により、意思決定支援と在宅移行が可能となった子宮癌肉腫の一 高野 智早(福井大学医学部附属病院 がん診療推進センター)	-例 3	383
P056-7	家族ケアの充実を目指して	3	383
P056-8	アドバンスケアプランニング (ACP) を有効に行うための問診票の活用 (3) ~治療効果が予測困難な状況で活用した2事例の検討~	3	383
%P096-6	の発表は6/20(金)P056-9のポスターパネルで行います。		
PO57 倫理的問	問題、その他の精神・心理・社会的ケア・倫理的問題	6月20日(金)14:00-15:0 ポスター会場	
	卢	長:齋藤 信也(岡山大学大学	院)
P057-1	「同一医療機関でがん治療から看取りまでを行うこと」と「Best Supportive C スムーズなBSCへの移行に違いはあるか神山 英範(秩父市立病院 緩和ケアチーム)		
P057-2	鎮静の判断に難渋した実存的苦悩を抱える患者の1例 中嶋 真一郎(市立芦屋病院 緩和ケア内科)	3	384
P057-3	輸血を止めたいという患者への倫理的対処〜終末期の再生不良性貧血患者の生きる 長久 栄子 (医療法人真生会 真生会富山病院 緩和ケアチーム)	意味への援助〜 3	384
P057-4	患者の希望に沿うことが転倒につながった事例を通してケアの方向性を考える … 青木 清美(独立行政法人国立病院機構 四国がんセンター)	3	884
P057-5	緩和ケアチームにおける心理士の活動報告について一患者グループの活動報告ー 澤田 俊子 (医療法人鉄蕉会 亀田クリニック 臨床心理室)	3	885

P057-6	生活保護受給患者のがん終末期医療の現状と課題 戸倉 夏木(相模原中央病院 外科)	385
P057-7	緩和ケア病棟における徘徊を伴う認知症合併がん患者の検討 鈴木 友宜(栃木県立がんセンター 緩和医療部)	385
P057-8	緩和ケアチームが関与した終末期がん患者の維持透析中止についての検討 生物 美穂 (新潟大学大学院医歯学総合研究科 緩和医療学)	385
P057-9	予後予測困難ながん患者への人工呼吸管理と精神的支持	386